

## 内谷市長の

## ゆるやかコラム

## 「こどもを中心とした地域社会と

## 魅力あるまちなかへ向けて」



4月1日はなごり雪が降り、今までにない新年度の幕開けとなりました。そのような中、小中学校等の入学式では、こどもたちが明るい笑顔で新年度を迎えられたこと、大変うれしく思います。

さて、市では過去10年間様々な取り組みの種をまいてきました。今年度は、70周年を契機として、取り組みの種が大きく成長する最初の1年にしたいと考えています。特にこどもたちが、「長井市は希望が持てるまちだ」と感じられるようなまちづくりを進めていきたいと思います。

その1つとして、こどもを中心とした地域社会を目指し、市内6地区のコミュニティセンターと共に、各地区の地域性を生かしたまちづくりを進めています。各地区のコミュニティセンターと小学校を結ぶような公共施設整備の在り方も検討し、人口減少が進む中にある、学校と地域と家庭が連携しながら、誰もが笑顔で暮らしているまちを目指してまいります。

またなかでは今年度から、「まちなかウォーク推進事業」として、文教の

杜周辺を歩いて楽しめるような空間にしていくな取り組みをスタートいたします。現在文教の杜周辺は、歴史的建造物がある一方で、空き店舗や空き家が多く存在しています。それらを活用し、まちめぐり美術館のような施設、お土産やカフェを備えたインフォメーションセンターも整備していきたいと考えています。最上川舟運で栄えたまちなかを楽しんでいた、歩きながら食事や休憩を楽しみ長井の良さを知ってもらおうという取り組みです。そのほか、長井駅前の県道については、道路の幅を広げ交差点を安全に通行できるように、県の街路事業として整備を進めていただいております。魅力あるまちなかの整備を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

5月末には黒獅子まつりが開催されます。市外県外だけでなく外国からのお客様も訪れ、多くの方に長井の良さを知ってもらおう一大イベントです。たくさんの方の市民の皆様と共にまつりを楽しみたいと思いますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。